社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	浜松市における住環境の向上（防災・安全）												
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	浜松市												
計画の目標	住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,981	A	1,977	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.2	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R7末
1	浜松市における住宅の耐震化率を約91%から95%に上げる。			
	住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 （住宅の耐震化率）＝（耐震性が確保された住宅数）／（全住宅数）（%）	91%	%	95%
2	浜松市における狭い道路の拡幅整備(2.5km/年)			
	幅員4m未満の狭い道路に面する民間敷地を後退し、拡幅道路として整備した割合 （狭い道路の拡幅整備の割合）＝（R3年度以降、拡幅道路として整備した延長）／（R7年度末時点の拡幅道路整備の目標延長）（%）	0%	100%	100%
3	浜松市における解体・改修予定のある公共施設のアスベスト含有調査を100%実施する。			
	解体・改修予定のある公共施設のアスベスト含有調査を実施した割合 （アスベスト含有調査の実施割合）＝（実施棟数）／（調査計画の棟数）（%）	45%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
浜松市国土強靭化地域計画　A16-001												

案件番号：　0000777710

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	浜松市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業（耐震改修事業）	耐震改修事業	浜松市	■	■	■	■	■	829	－	－
	A16-002	住宅	一般	浜松市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業（住宅・建築物アスベスト改修事業）	住宅・建築物アスベスト改修事業	浜松市	■	■	■	■	■	57	－	－
	A16-003	住宅	一般	浜松市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業（がけ地近接等危険住宅移転事業）	がけ地近接等危険住宅移転事業	浜松市	■	■	■	■	■	10	－	－
	A16-004	住宅	一般	浜松市	間接	個人	－	－	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路整備等促進事業	浜松市	■	■	■	■	■	1,081	－	－
											小計						1,977		
											合計						1,977		

案件番号： 0000777710

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	浜松市	間接	個人	－	－	耐震シェルター整備事業	耐震シェルターの設置	浜松市					■	4		－
		耐震シェルターの設置に対する補助により、震前において安心・安全な住宅環境の確保を促進する。																	
											小計						4		
											合計						4		

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・実施主体：都市整備部建築行政課 ・評価に係る審議：都市整備部公共事業評価審査会にて審議を行う	令和８年６月２６日
	公表の方法
	浜松市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画期間内において木造住宅耐震補強助成事業により520棟の住宅が耐震化され、狭あい道路の拡幅整備を延長距離として10.66㎞実施し、かつ解体・改修予定のある公共施設のアスベスト含有調査をH28～R7で832棟（書類調査等含め1,172棟）実施したことで、安全で安心できる住まい・まちづくりが促進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし

○特記事項（今後の方針等）

次期整備計画（R8～R12）により引き続き耐震性が不十分な住宅の耐震化や狭あい道路拡幅整備等を推進していく。

案件番号： 0000777710

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	住宅の耐震化率		
	最　終 目標値	95%	
	最　終 実績値	95%	
2	狭い道路の拡幅整備の割合		
	最　終 目標値	100%	拡幅整備延長が年2.5㎞を達成した年度もあったが、建築確認申請件数が減少傾向（5年前よりR7は約83%）であったことから、これに影響を受ける寄附申出に伴い行った拡幅整備の件数も想定整備件数より低かったため、目標の整備予定延長に至らなかった。
	最　終 実績値	85%	
3	公共施設のアスベスト含有調査の割合		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	

案件番号：0000777710